

報 会 うでまくり

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

福島プライドを

もういちど！



福島県女性経営者プラザ

会長 三田 公美子

先日機会があつて、島根県邑南町の視察に行つてまいりました。

邑南町？どこにあるの？実は私もさっぱりわかりませんでした。おうなんちようと読むこともできませんでした。邑南町は平成16年10月1日に羽須美村、瑞穂町、石見町の3町村合併により新しくできた町で、人口は約1万人だそうです。私が行きたいと思つたのは「A級グルメのまちづくり」を掲げているときいたからです。

ついでに言うと、私はコトバも中味もB級グルメというやつが大嫌いで、一流とか極上とか言つたつて、ほんとにうまいものなんかそうはないのに、はなからB級と言つて鈍感さがたまらない。その点、名前も読めないようなど田舎の町でA級グルメの町づくりを志向するなんて、気概だけでもえらい、と感動したのです。

建設業を営みながら山の中でチョウザメの養殖とキャビアの製造に取り組んでいる小林建設さん、完全自然放牧による本物の牛乳づくりを実現している洲濱正明さん夫婦、スイーツ甲子園

◆FJPの目的◆

- ①女性経営者としての資質向上
- ②次の女性たちのための風土づくり
- ③共同事業の開発
- ④地域・社会への貢献

に挑戦を続ける矢上高校生、さらには邑南町のA級素材から生み出すA級グルメの発信地 ajikura、山の中でありながら年間45万人を集客する道の駅瑞穂、しかも邑南町の農業と食文化を100年先へ伝えてゆくための、町営「食の学校」まであるのです。

私があればこれいうよりも見てもらった方が正確に伝わると思いますが、私は「田舎のプライド」の真剣さ、美しさに打たれました、名前は忘れたけどイギリスの哲学者が「都会には気のきいた人がいる。しかし地方には心あるほんものの人間がいる」と言っていて、私はその言葉をいつも地方に住む意味と考えてきました。

復興とか創生とか、からつぽのコトバの前に、私たち福島県人は、いまこそ地方の個性と誇りを取り戻さなければならな

●うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！

い。福島個性と誇りは何か、そこからもういちど歩き始めなければ…邑南町に教えていただきました。



2015.6.10 東京へ視察旅行へ

FJP 設立 20 周年記念式典開催される！

——第 1 回女子学生作文募集表彰式——

2015.3.17 於福島市・エルティ



千葉審査委員長の講評



作文募集で受賞した女子学生のみなさん



小林市長も駆けつけて…さだ兄妹と



ようこそ！ 笑顔でお出迎える FJP 会員



懐かしい顔ぶれが勢揃い… OB 会員も多数ご出席いただきました



FJP 創立20周年記念 県内女子学生作文受賞作品

FJP 創立20周年を記念して、「こんな女性経営者になりたい」をテーマに女子学生作文募集を実施した。応募総数40編。最終選考15編の中から、金賞1点、銀賞2点、奨励賞5点が選ばれた。

千葉悦子審査委員長は、今回寄せられた作文全て、特に受賞作品に共通している特徴として、6つ挙げていく。①幅広いテーマで、経営者像にアプローチしている、②進むべき経営者の道を具体的に描いている、③職業観や経営理念の大事な価値軸に「共に生きる」共生の考え方がみられる、④海外留学体験やいのち・死の体験を通して、豊かな感性を磨いている、⑤現在の学び舎（大学等）で学ぶ重要性に気づき、自分を向上させる努力をしている、⑥傷ついた福島を取り戻したいという強い思い・願いが反映されている。以上の通り、第1回目の試みとしては、予想以上の反響とクオリティの高さに、地域の関心を高め、継続への期待が高まっている。金賞・銀賞受賞作品がい

かに魅力的であったか、賞状文をここに紹介します。

FJP 設立20周年記念事業
第1回「女子学生作文募集」

銀賞

『病氣と闘う子どもとその家族を救うために始めるビジネス』
秋保 みのり 様
(会津大学 経済学部 産業経済学科)

私は女性経営者となって新しい患者存在施設を作り、もともと広く知らせてゆきたい。福島県に本社を置き、福島から全国で病氣と闘う子どもとその家族を応援してゆく。秋保さんの親類で勇気な施設に敬意を表し、私たちはその一歩として第1回銀賞を贈ります。

平成27年 3月17日

FJP 設立20周年記念事業
第1回「女子学生作文募集」

銀賞

『発展途上国から世界に通用する靴ブランドへ』
小野寺 真里 様
(宇都宮大学 経済学部 国際社会学科)

タイの北部にホームステイした体験を生かしてソーシャルビジネスへと思いを広げるあなたの考え方に、たいへん感動しました。あなたの立ち上げた靴ブランドの購入を合わせて予約すると共に、あなたに第1回銀賞を贈ります。全力でがんばってください。

平成27年 3月17日

FJP 設立20周年記念事業
第1回「女子学生作文募集」

金賞

『福島の地で、看護の道で』
杉原 里奈 様
(国際医療福祉大学 看護学部 看護学科)

あなたは、作文の中で、福島の地に根ざした女性経営者となり、どんな仕事に取り組むのか、ひたむきな思いを示してくださいました。あなたが、さらなる努力を重ね、一日も早く夢を実現されることを確信して、私たちは第1回金賞をここに贈ります。

平成27年 3月17日

FJP 第20回定時総会記念講演——2015年4月21日

「右手に愛情、左手にそろばん」

NPO法人全国商店街おかみさん会初代理事長
協同組合浅草おかみさん会会長

富 永 照 子 氏



浅草仲見世老舗手打ちそば「十和田」4代目女

将として、家庭との両立を図りながら、仕事や地域貢献活動に取り組んできた。31歳の時「浅草おかみさん会」を立ち上げ、浅草サンバカーニバル、ニューオーリンズジャズフェスティバル、2階建てバス導入などまちおこし運動の仕掛け人となる。1993年女性メンバーのみで設立された日本で最初の協同組合「浅草おかみさん会」を設立、全国各地におかみさん会を誕生させ、毎年開催される「全国商店街おかみさん交流サミット」は各方面から注目を集めている。

■ **おかみがしつかりしていれば世の中必ずよくなる**

浅草は、今や東京を代表する観光地になったが、私が仲見世に嫁いだ頃



は、かなり斜陽化していた。人通りも閑散としていて元気がなかった。三味線等芸事もやりながら、おかみとして何かできることはないかと、ずつと考えて

いた。大企業の社長といっても何もできない人が多いし、松竹の社長（日本映画の基礎を築いた城戸四郎の孫）を見てみると、「暖簾に胡坐をかいていてはダメだ」と感じた。おかみがしつかりしていないとダメになると本気で思っ、おかみさん会を立ち上げた。おかみさんの踏ん張りがあれば、必ずや浅草は蘇る。以来、浅草に根を張って40年、手探りで進めてきた。その甲斐あって、劇場も映画館も賑わう芸の

町浅草に生まれ変わった。現在、浅草寺には年間4千万人の観光客が来ている。仲見世も中国やアジアの人たちの食べ歩きで人気スポットになっている。

■ **女性の時代、ふるさと創生も女性の力で**

浅草を蘇らせ、元気にしてきたのは、何といっても女性パワーの賜物であると思う。女性は肩書きや名誉で動かない分、やりたいことをやりとげる粘り強さがある。私も他のおかみさんも皆人を頼らず、自分の力を信じてやっていくという覚悟をもっていた。失うものが小さいから、実に潔かったと思う。福島女性経営者の皆さん、今、女性の活躍が最も期待されている時。ふるさと創生ということ、国は地方都市の活性化に取り組んでいく方針で、安倍首相の肝いりで「まち・ひと・しごと創生本部」も設置された。地域と都市をつなぐ政策や地域に人の流れをつくる試みが様々検討されている。

そして、アベノミクスは女性活躍と地方活性化という2本の柱が売り。まさにやる気のある女性への応援であり、大変心強い。積極的に提案すれば支援してもらえる時期と思うので、こ



機関紙「おかみさん」は、浅草情報満載（定価500円）



のチャンスをやむと活かして活躍の場を広げてほしい。地域のおかみさんをみてみると実に多様性があり、男顔負けの底力がある。「社会を変える」ときと変えられる」という強い信念と熱い思いがあれば、必ず成果につながる。そろばん勘定にあう成果を出すことが大事で、そのためには、第一に無条件の仲間づくりから始めてほしいと思う。私も、浅草のため、全国の地域のため、命の続く限り踏ん張っていく覚悟である。FJPもがんばりましょう。

都内で研究者を派遣する特定派遣会社を経営する山本欣子さん（写真右端）。専業主婦を経て50代で今の会社を設立した経緯、50代で入学した大学での勉強の日々について話されました。震災を機に雇用支援のためにと郡山にオフィスを新設。現在ではFJJPのために講演会を企画するなど東奔西走しています。

また、両親が経営する宝石店で働く服部桃子さん（写真中央）。社長（父親）がスリランカで宝石の売買を始めてから現在までの経緯を中心に話されました。「エネルギーシユなFJJPの皆さんからパワーを頂いています」と嬉しそうに話してくれました。

◆コーディネーター 三田会長

5月例会 5月12日（郡山・燦） 会員に聞く



東京・視察旅行

6月移動例会

——6月10日（水）、会員約20名が集
合場所・赤坂見附「俺のフレンチ・イ
タリアン」に集い、都市のホットスポッ
トを探索するところから、視察研究会
がスタート。視察目的の1つは、理容・
美容分野でグローバル企業に急成長さ
せたソシエ・ワールド代表取締役須藤
政子さんのお話を伺うこと。アジア進
出の苦労話から人材育成の秘訣まで、
経営マインドを刺激する内容でした。



福島現状をスピーチする三田会長、左は、
東京産業人クラブ女性部会 佐川会長



企業成長の鍵は人づくり
と強調する須藤社長



「復興の目的は自立。
いつまでも支援を続
けるわけにはいかな
い」と竹下復興大臣



銀座屋上で蜜蜂づくり。例銀座蜜蜂・田中社長
の話を聞く。様々な種類のハーブも育てている。
美味しいハーブ茶ご馳走さま！

もう一つの目的は、東京産業人クラ
ブ女性部会（佐川八重子会長）6月特
別例会「福島・被災地の女性経営者の
声を聴く」に参加し、親睦を深めるこ
と。東京から31人、FJJPから23人が
夜半まで歓談しました。竹下復興大臣
も馳せ参じ「福島は厳しい状況が続く
が行政だけでは力不足。今こそ民間の
ノウハウを！」と強調。被災地を知ら
ない人が多く東京からの矢継ぎ早な質
問にビックリ。「秋頃には必ず福島を
訪問します」と約束、お土産までいた
だき恐縮ばかりの交流会でした。

7月例会 7月14日（火）

パワーアップ講演会

「企業の社会的責任」と題して、弁
護士渡辺健寿先生に約1時間講話をい
ただきました。マイナンバー制度導入
を背景に、情報漏えい等情報セキュリ
ティに対する重要性が高まっている中、
リスクマネジメント、コンプライアンス、
CSR（企業の社会的責任）の関
係が接近しつつあるという鋭い指摘に、
これからの企業経営の危うさ・脆さを
再認識しました。会社業務の適正を確
保する組織体制や自立システムの整備
が求められるが、仕組みだけでなくマ
ネジメントが重要だという。

（会場・茶寮おりおり）



「コンプライアンスは顧客に対する責任、会社に対す
る責任、社会に対する責任それぞれのレベルで」…分
かりやすく説明してくれた渡辺健寿先生（福島市・茶
寮おりおりにて）

新入会員紹介



神保優子さん



私がFJ Pの素晴らしい女性経営者の方々と出会えたきっかけは、会津で開催された移動例会の時でした。三田会長の男性

もかなわぬようなバイタリティーの素晴らしさと女性の凛としたしなやかさには、奥の深さを感じます。冠婚葬祭を営んでいる私にとって感動的な出会いでした。FJ Pは今年20周年を迎えたのですが、女性一個人として仲間との輪に加えさせていただいたことに感謝申し上げます。

振り返りますと、人生は全て人との出会いと感動でありそこで自分自身を少しでも磨くことができれば嬉しいです。そして地域の方々に愛され、心を通いあえるような企業を一步一步目指していきたいと思っています。

会津若松市 (株)神保 専務取締役



斎藤可子さん

多くの人との出会いが、私の人生にどれほどの力を与えてくれたのか…心より感謝の言葉を申し上げます。

24歳で飲食業を営む家に嫁に来て、右も左も分からない上に、商売なるが故、人と会うことも仕事の内でした。当時は家族が主体の小さな店でしたので、子どもを背負って働き、毎日が無我夢中。そんな中でも、親しい知人の紹介などで多くの方々との出会いがあり、多くの場面で至らない私へのご教授も賜りました。その時は、耳が痛いと思っていたことも、後になって良薬であったことが分かるような気がしたものです。そのお蔭で、今の自分が在ると思っています。お世話になったことが山ほどある中で、これからはその百分の一でも少しずつでもお返しをしながらの人生を重ねて生きたい——そんな思いで女性経営者プラザに入会させて頂きました。これからもよろしくお願ひ致します。

福島市 (株)峰亀 営業部長

◆各委員会開催

毎年8月に開催されている各委員会は、総務・事業委員会(郡山・燦)、交流広報委員会(福島・おりおり)がそれぞれ委員会を実施しました。

総務・事業委員会は、秋の大型イベント及び女子学生作文募集を成功させることを共通テーマに活発な意見交換が行われました。交流広報委員会は広報「うでまくり」について、担当を決めて編集会議を開催。各委員会ともランチのあとは会員同志の楽しい話で親睦を深めることが出来ました。新しい会員もより親近感や信頼感を持っていただけたのではないのでしょうか。イベントも広報誌も、FJ Pの腕まくりパワーが楽しみです。



●コラム：福島県の自慢！ 福島空港 ウルトラン



福島空港といえば、何と言ってもウルトラマン——空港のある須賀川市がウルトラマン生みの親「円谷プロ」創設者の出身地ということもある。空港のあちらこちらにウルトラマンや怪獣がいて、空港の差別化に二役かっている。ウルトラマンは、最近の調査でも永遠のヒーローベスト10に選ばれている英雄だが、この平和を願う強い味方が永遠に福島にいるという訳。震災で苦難に喘ぐ地域を温かく見守っているというのは何と幸せなことか。そんなウルトラマンがいる「福島空港」を、あらためて県民の誇りであると認識した。

福島空港が、本来の元氣な集積基地に一刻も早く回復することを願ひ、世界のローカル空港のように人気の空港になれたらいい。その日まで、私もフライトや空港ぶらりを楽しんで、静かに自慢を発信続けたいと思う。

交流広報委員長 会田和子

会員！ Photo アラカルト



会員募集

JPでは、女性ならではの感性を研ぎ澄まし、時代を
 捉えた情報の受・発信に取り組んで参ります。新しい
 箇の入会を心よりお待ちしております。
 会についてのお問合せ・お申し込みは
 TEL 024-961-8822
<http://fjp-net.com/>



TEL 024-961-8822
http://fjp-net.com/

1/



作文募集

第2回女子学生座員





私はこんな“しごと”で起業したい

2015年 9/11*~12/10*

【期 間】2015年 12/10(日) 午後開始
【申込 締切】2015年 12/10(日) 24:00 受理完了

応募資格

高 中 生 生 徒 1 級 30 万円 生 徒 2 級 5 万円
 奨 励 賞 5 級 留 学 生 一 切 10 万円 ※ 高 校 に 在 籍 し 終 了 し た 者 可

● 募集要項 (www.fjp.net)

◆ 期 間 9 月	◆ 期 間 9 月	◆ 期 間 9 月	◆ 期 間 9 月
募集要項・募集要項	募集要項・募集要項	募集要項・募集要項	募集要項・募集要項
募集要項・募集要項	募集要項・募集要項	募集要項・募集要項	募集要項・募集要項
募集要項・募集要項	募集要項・募集要項	募集要項・募集要項	募集要項・募集要項

● 募集 / 1 人 1 稿 募集要項・募集要項 / 2 人 1 稿 募集要項 / 3 人 1 稿 募集要項 / 4 人 1 稿 募集要項 / 5 人 1 稿 募集要項 / 6 人 1 稿 募集要項 / 7 人 1 稿 募集要項 / 8 人 1 稿 募集要項 / 9 人 1 稿 募集要項 / 10 人 1 稿 募集要項

● 募集 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項 / 募集要項・募集要項

Eメール: info@fjp-net.com 1 人 1 稿 募集要項 <http://fjp-net.com>

募集 / 募集要項 1 人 1 稿 募集要項 2 人 1 稿 募集要項 3 人 1 稿 募集要項 4 人 1 稿 募集要項 5 人 1 稿 募集要項 6 人 1 稿 募集要項 7 人 1 稿 募集要項 8 人 1 稿 募集要項 9 人 1 稿 募集要項 10 人 1 稿 募集要項

[illegible]

大型講演会——ホリエモン語る！

FJP 20周年記念事業

■ F J P 設立 20 周年記念で
小冊子発刊

FJJPでは、設立20周年を機に、組織を法人化（一般社団法人）と致しました。県内を代表する女性経営者の集いを目指し、女性経営者人材の基盤拡充と情報発信力をもつて福島復興に取り組んでいく方針です。そこで、FJJPや会員への理解を深めてもらう狙いから、「お仕事ください〜会員社カタログ〜」を発刊いたしました。カタログ希望、仕事の相談など、いつでもご相談ください。



FJPへのお

問合せ、ご相談は左記まで。

電話 024-961-8822

<http://fjp-net.com/contact.html>



編集後記

今年11月は国等が主唱するテレワーク象徴月間。働き方の多様性を
 拡げるのが狙いだとか。ふるさと創
 生や一億総活躍推進など、女性の強
 い味方になれば嬉しいです。(K・A)